

平成 3 0 年

高 松 市 教 育 委 員 会 1 1 月 定 例 会

会 議 録 (抄本)

1 1 月 2 2 日 (木) 開会

1 1 月 2 2 日 (木) 閉会

出席した教育長及び委員			
教育長	藤 本 泰 雄		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	赤 松 雅 子		
教育局次長 総務課長事務取扱	石 原 徳 二		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	南 岳 志		
中央図書館長	猪 原 良 輔		
学校教育課長	久 保 朗		
総務課長補佐	西 村 福 和		
総務課総務係長	牧 野 小 織		
会議録署名委員	吉 澤 潔		
事務局担当書記	藤 澤 由 美		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（11月定例会）

日程第1 議案第31号 高松市社会教育委員の委嘱について

日程第2 報告事項

- 1 決算審査特別委員会の結果について
- 2 学校訪問について
- 3 平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について
- 4 高松市図書館への児童図書の新着について
- 5 「第7回高松市図書館を使った調べる学習コンクール」の追加審査について

日程第3 議案第32号 平成30年度第2期高松市教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について

日程第4 報告事項

- 6 平成30年第5回高松市議会定例会提出議案に対する意見の申出について

【平成30年11月22日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に吉澤委員を指名。

日程第1 議案第31号

議案第31号 「高松市社会教育委員の委嘱について」

生涯学習課長から、高松市社会教育委員の委嘱について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 報告事項

報告事項1 「決算審査特別委員会の結果について」

総務課長から、市議会決算審査特別委員会における審査結果の概要について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項2 「学校訪問について」

学校教育課長から、学校訪問（小・中学校）について報告。

<質疑>

- 委員 学校訪問には、私の他に東部教育事務所の方も来られており、先生方もその方たちの対応で忙しそうなところ、私にまで案内をしていただき恐縮しました。
- 教育長 東部教育事務所の指導主事の方はフリーで回られるのですね。
- 学校教育課長 東部教育事務所には、主任管理主事と主任指導主事・指導主事がおりまして、管理の担当者は、市教育委員会指導主事の管理担当者と一緒に回っております。指導の方につきましては、主に授業参観を中心に全体を見て回っております。学校訪問を通してお気づきになったことがございましたら、御意見をいただきまして次年度に向けて取り組んでまいりたいと思います。
- 委員 先日、訪問した学校では、ノートの取り方が統一されており、先生が変わっても同じようにしていたところがいいと思いました。6年生のあるクラスでは、生徒たちが電子黒板を使って違った意見を出し合い、先生が少しアドバイスを加えるという授業を見て、自分たちで学ぶ姿勢は画期的だと思いました。
- 学校教育課長 電子黒板につきましては、いい授業例を紹介していきたいと思います。
- 委員 どの学校においても学習態度は全体的にいいと思いました。学校を訪問して初めて知る事もありますので、もう少し学校の特長等をPRできればいいと思います。若年教員とベテラン教員との連携が課題になっているとお伺いしましたし、様々な業務を担当の先生と校長、教頭とで対応しており、成果が出るまで時間がかかるという印象を受けました。
- 学校教育課長 ベテラン教員の旧態依然の授業については、課題であると捉えております。生徒指導につきましては、生徒指導主事を中心に生徒指導を、中学校であれば、学年団ごとに生徒指導担当がおりまして、教頭、校長が対応しなくても処理できることがあります。学習面ですと、現教主任が中心になり、教頭、校長にアドバイスを求めますが、主任レベルが育っていれば、その段階で処理できます。管理職として、主任層をしっかりと育てることが課題だと思っております。

- 委員 分かりました。
- 委員 いくつかの学校を訪問させていただきましたが、普段は入れない学校の実態がよく分かりました。特別支援教育に関しましても、校長先生のリーダーシップ等、状況が分かりましたので、来年も多くの学校訪問をさせていただきたいと思います。
- 学校教育課長 ありがとうございます。
- 委員 普段は自分の子どもが通う学校しか見られませんので、他の学校の取組を見せていただいたのは貴重な経験になりました。ある小学校では、生徒会活動が活発でしたので、その取組を他の学校にも紹介し活動が広がるといいと思いました。また、校長先生によっても取組が違うのだと感じました。
- 学校教育課長 特色ある学校の取組につきましては、先日行いましたパネルディスカッションなど、様々な場を通して紹介してまいりたいと思います。
- 委員 学校訪問する前に、必ずその学校のホームページを見ます。例えば、小学校、中学校別に、ホームページコンテストのようなものをしてはどうかと思います。ある学校のホームページは、歴史がよく分かり感銘を受けました。子どもがいる家庭では、例えば、住所が変わる時など、子どもが通う学校が、どのような学校なのかホームページを見ると思います。生徒たちが作成するといいですし、外に向けての発信はとても大事だと思います。自分たちはすばらしい学校に行っているという、生徒が自己肯定感を持てることにもつながると思いますので、ホームページをもう少し活用したらいいのではないかと思います。
- 学校教育課長 多くの学校では、ブログという形で日々の行事、出来事を更新しております。学校により、毎日更新しているところもあり、保護者の信頼にもつながっています。ホームページの更新が遅い学校もありますので、伝えていきたいと思います。
- 委員 是非、スクールソーシャルワーカーを全学校に配置していただきたいと思います。子どもたちの状況は日々変化していますので、スクールソーシャルワーカーの先生に相談したり、保護者の方も相談できるようにしていただけたらと思います。
- 学校教育課長 スクールソーシャルワーカーにつきましては、学校からの需要も多く、配置は中学校2校に1人ですが、その1人においても中学校区の小学校からの要請にも対応しております。一方、スクールソーシャルワーカー自体の人数が少なく、その兼ね合いもあり、現在は13名となっております。増員できるよう希望はしております。

す。

- 教育長 先日、園長・校長・副校長研修会がありまして、先生方に学校訪問の感想をお伝えしたところです。現在は、教室を徘徊しているような生徒はおらず、皆さんに見ていただいたように落ち着いた教育活動ができております。初年度は、教室で寝ている生徒もいましたが、今は寝ているような生徒はほとんどおらず、教育活動がきちんとできているという感想を持っております。管理職については、本県は珍しく、教頭先生を2人配置している学校もあります。全国的には、どんなに大きな学校でも、校長1人、教頭1人という体制です。本県は、中学校では約8割が複数配置、小学校では大規模校において複数配置がほとんどです。ただ、教諭の定数を使っていますので、教頭も授業を担当します。他県では、教頭は授業をしないところも多々ありますが、本県は、2人配置ですので、2人で1人分ぐらいの授業をします。その分、生徒の状況を把握しながら管理職としての仕事ができます。管理職につきましては、他県と比べると多いです。広報につきましては、教育委員会も同様ですが、しっかりと広報していく時代であると思っております。以前は学校へ行きますと、私立学校のポスター等が多かったですが、今は少子化もあり、県立高校もポスターやホームページ等でアピールをしています。それと同じように、小・中学校においても学校の魅力の発信をしていただきたいと思います。鶴尾小学校においては、4校から中学校を選択するようになりましたので、子どもたちが生き生きと学校選択を考えているようです。中学校側としましても、多くの生徒に来てほしいとアピールをしているようです。教育委員の皆様からも忌憚のない御意見を頂き、今後の学校指導に役立てたいと思いません。

報告事項3 「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について」

学校教育課長から、平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について、県全体の結果と本市の傾向について報告。

<質疑>

- 委員 1ページの暴力行為の推移のところですが、小学校での件数が増えていますが、実際の件数が増えたのか、認知の仕方が変わったのですか。低学年か高学年か、どちらの傾向が多いのか、分かれば教えてください。
- 学校教育課長 暴力行為の発生件数の認知の仕方は変わっておりません。小学校でも件数が増えており、低年齢化している傾向にあります。学年別のことは分かりませんが、高学年の方が多いです。特定の児童が複数回にわたりますと、複数回カウントします。
- 教育長 1人の児童が繰り返しますと、その度にカウントしますので件数が跳ね上がることがあります。平成20年若しくは21年頃、ある学校の1人の生徒により香川県の数字が飛躍的に上がったことがありました。特定の児童ということもあるかもしれませんが、全体的に少し増えてきています。
- 委員 分かりました。
- 教育長 いじめの認知件数が大変増えておりますが、国の見方をより丁寧に見ていくように変わりました。県のデータでは、平成28年度の千人当たりのいじめの認知件数が全国で一番少なかったことがありましたが、文部科学省から確認があり、少なくとも、多くても指導が入りました。約2.2倍増えていますが、千人当たりの件数にしますと、全国では少ない方に入っていると思います。学校現場では、件数が多いから悪いということではなく、認知をして対策を講じ、解消に向けて取り組むことが何より大事なことです。

報告事項4 「児童図書の寄贈に伴う寄贈目録の贈呈について」

中央図書館長から、「株式会社たまや」から児童向け図書の寄贈を受けたことを報告。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項5 「『第7回高松市図書館を使った調べる学習コンクール』の追加審査について」

中央図書館長から、「第7回高松市図書館を使った調べる学習コンクール」の追加審査について報告。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が日程第3 議案第32号及び日程第4 報告事項6について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、会議は公開しないことを各委員に諮り、非公開とすることに決する。

日程第3 議案第32号

議案第32号 「平成30年度第2期高松市教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について」

<非公開審議、内容不記載>

日程第4 報告事項

報告事項6 「平成30年度第5回高松市議会定例会提出議案に対する意見の申出について」

<非公開審議、内容不記載>

————— 午前10時45分 閉会 —————

議決事項

「高松市社会教育委員の委嘱について」

「平成30年度第2期高松市教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について」